

令和元年11月18日

清水町議会議長 加来 良明 様

清水町議会議員 高橋 政悦

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

1 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）

2 研修日時 令和元年10月5日（火）

3 研修先 札幌新陽高等学校

4 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について
（札幌新陽高等学校の取組みについて）

5 成果（具体的に）

清水高校入学者確保に向けた支援策を調査研究するため、公立高校の枠を超えた私立札幌新陽高等学校の入学者受入方針、教育理念、ICT教育の実施方法等について荒井 優校長より説明を受けた。

まず、中学3年生の実情として、進学先の選択権は母親にある家庭が最も多く、そのニーズは偏差値を高めるカリキュラムを求めており、学び方の工夫が必要となっている。

しかしながらそのカリキュラムだけで生徒を集めることは困難であり、ターゲットを絞る必要が生じてくる。

中学3年生の30%は小学校4年生の学力しかなく、40%が偏差値45以下であるという分析結果から7%しかいないとされる偏差値65以上またはそれに準ずる偏差値の生徒はターゲットとせず、母集団の中央値以下の生徒が偏差値を上げられるカリキュラムに特化することで保護者として生徒に理解を求め新入学者確保を図っている。

また、ICT教育については、ハード環境の整備はもちろんのこと運用方法についてもソフト選択から指導方針まで教師がまず体験し、ルールづくり及び活用方法の模索等積極的に行われている。

これら新陽高等学校の理念は、人口比率の高い年齢構成をターゲットにする選挙戦あるいはまちづくり戦略に通じるものであるとされ、民間の独自性が多く加味されており、教育現場としての幅広さを感じる。

令和元年11月18日

清水町議会議長 加来 良明 様

清水町議会議員 高橋 政悦

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

1 研修名（主催者）..... 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）

2 研修日時..... 令和元年10月6日（水）

3 研修先..... 北海道科学大学高等学校

4 研修目的（視察事項）..... 高等学校振興に対する支援策について

.....（北海道科学大学高等学校の取組みについて）

5 成果（具体的に）

..... 清水高校入学者確保に向けた支援策を調査研究するため、公立高校の枠を超えた私立北海道科学大学高等学校の入学者受入方針、教育理念、ICT教育の実施方法等について橋本 達也校長より説明を受けた。

..... 北海道科学大学高等学校は、北海道科学大学（前北海道工業大学）の系列校であり、札幌新陽高等学校とは入学者確保に向けたターゲットに変化をみせている。

..... 高大接続連携プログラムを前面に打ち出し、進路あるいは将来的な職業に対してビジョンを持っている生徒をターゲットとし、基礎から発展に至る探求活動をカリキュラムに組み込むことでより深い学びへと導いている。

..... 私立校ならではの特待生制度を活用したり、個別授業ともいえる尚志塾を開設し、生徒の求める学び舎としての魅力を最大限引き出す努力を惜しまない。

..... また、海外研修のチャンスもあり、生徒たちがこの学校を選択する要因の一つになっている。

..... ここ1年ほどで進学実績も就職実績も充実してきており、教育改革の成果としてあらわれている。

総括

二校の取り組み実績を踏まえ、清水高校入学者確保に向けた支援策として、支援する側の連携（教育委員会・高校・振興会・保護者会・議会等）が必要であること。

また、少子化のおり、国公立大学ですら入学者確保に向けて努力が必要な時代がきていることを鑑み、高大連携の可能性を模索するなどあらゆる支援策を考え実行しなければならない。

清水高等学校は普通科高校に比べ、総合学科としてより専門的な分野を学ぶ機会もあり、カリキュラムも多彩に組める可能性は否めない。

よって生徒・保護者のニーズを把握することはもちろん、公立高校ではあるが、魅力ある学び方への支援策そして近い将来町立化とせざる負えない状況になったときへの準備も怠ってはならない。

令和元年 11月18日

清水町議会議長 加来 良明 様

清水町議会議員 中河 つる子

研修報告書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1. 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）
- 2. 研修日時 令和元年10月5日（火）
- 3. 研修先 札幌新陽高等学校
- 4. 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について
（札幌新陽高等学校の取組みについて）
- 5. 成果（具体的に）

生徒に対して

- 1. 発想力豊かの子、人材が求められている。
失敗にもよい出会いと現体体験
- 2. 偏差値で振り分けられる中で、学力が劣る子に
光を当てる。
- 3. 大学へ行かない子が地元を支えている。
高校時代のいろいろな地域を見ておくと、卒業後
も地元へ戻る。

入試（一般）

- ・ 内申点の条件はないが調査書は参考
- ・ 10-10-テストは行わないが、テストで2回2回高年個人上位者
から合格。

先生方

- 1. 働き方改革 - 10月から変形労働制
・ 36協定を結ぶ（未定額協定）
- 2. 先生方のやりたな事と応援が「失敗にもいいかかっちゃって」 - なまじかひる
- 3. 自分達のために活躍する。

荒井 優 学校長の体験から。

東北大震災での避難所支援の3年経ってから

学校が避難所にはなっていて、復興が進んで行くと、子ども、先生、親が元気になる。

今も学校めとつらいついて見えなかったが、学校の地域での役割は大きいと。

学校紹介

学校長紹介



荒井 優 学校長

あらい・ゆたか/1975年2月28日生まれ。札幌市立三角山小学校卒業後、神奈川県横浜市で育つ。1994年早稲田大学政治経済学部経済学科入学。卒業後(株)リクルートに入社した後ソフトバンク(株)社長室配属。グループ企業でSB プレイヤーズ(株)、(株)エデュアス、(株)さとふるの取締役を歴任・公益財団法人東日本大震災復興支援財団の専務理事を兼務、孫正義社長が行う復興支援活動の責任者を経て2016年2月より現職。

趣味：硬式テニス、山登り、読書、カフェ開催



荒井 優 学校長のSNS

公職

- 公益財団法人 東日本大震災復興支援財団 専務理事 (2011-2016)
- 福島県双葉郡教育復興ビジョン協議会 外部委員 (2012-2013)
- 福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 委員 (2013-)
- 公益財団法人 東京子ども図書館 評議員 (2014-)
- 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2015 オフィシャルサポーター (2015-)
- 南相馬市教育振興計画 有識者会議委員 (2015-)
- OECD 日本イノベーション教育ネットワーク 理事 (2015-)
- 文部科学省 平成27年度「地域政策等に関する調査研究」委員 (2015-)
- 福島復興公民館大学 発起人 (2015-)
- 公益財団法人 東日本大震災復興支援財団 理事 (2016-)

令和元年 11月 18日

清水町議会議員 加来 良明 様

清水町議会議員 中河 つる子

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）
- 2 研修日時 令和元年10月6日（水）
- 3 研修先 北海道科学大学高等学校
- 4 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について
（北海道科学大学高等学校の取組みについて）

5 成果（具体的に）

生徒の対して

- 1. 何を学んだのかを捜し→選抜ビニールで台湾への短期留学
- 2. 学習支援 - 塾を開いている。

- ・昭和型の一斉授業をやめ、クルーワーク学習
- ・わかるまでやりと質問

自分で考える授業 - 先生と出会う人と増やす。

エッセイの対しては文部両道とやる→学校の活力を上げる

3 部活動が盛ん。9種目全国大会出場

- ・負ける経験の大切さ - 以降の人生に役立つ
- ・負ける事を知りこえる力をつけ、学習にかかす。

4. 今後の指導と支援に変更

生徒集め

- ・私学の中くらいの位置
- ・特待生のレベルとどこに置くかが「かけ引き」
- ・今年1年生からパイロット（レベル）貸与（親から費用徴収）
 - ・各教科の学習アプリが入っている - 生徒はゲーム感覚でやる - 先生は返信
 - ・半転授業 - 先にパイロットの授業を見て一本授業の質問
 - ・生徒側に本当の学力が身につけているか不安
- 教師側のチエック - 過重労働かどう (次々)

先生方

- 私学は軸が加わる一教師の研修と積極的になる
- 夏休み公開研究、道外も含めいろいろな学校を見る
- 中学校を見る

小中学校が新しい指導要領を先行。

利尻高校の経験

2019年11月11日

清水町議会議長 加来良明 様

清水町議会議員 川上 均

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名(主催者) 清水町議会厚生文教常任委員会視察研修
- 2 研修日時 2019年11月5日～6日
- 3 研修先 札幌新陽高校・北海道科学大学高校
- 4 研修目的 私立高校独自の取り組みを視察研修することより、清水高校の振興に資することを目的とする
- 5 成果(具体的に)

I 日目 札幌新陽高校

【概要】

(1) 学校長(略歴) 新井 優

- ◎ 生年月日 1975年2月28日生まれ
- ◎ 出身大学 早稲田大学
- ◎ 職 歴 リクルート ソフトバンクの孫社長室等を歴任後に同校校長となる

(2) 教育目標

- ◎ スローガンに「本気で挑戦する人の母校」を掲げ、「自から考え、体験し、実践する」教育を目指している。
- ◎ 3つのテーマ
 - ① 「アドミッションポリシー」
自分を知り、自分を変え、成長する気持ちを持った生徒を求めている。
 - ② 「2020年に向けての教育改革」
知識暗記型のテストから、小論文・面接などを重視したテストに。AO入試が大学受験の主流に。これらに対応した教育の推進。

③ ICT 教育

入学者全員に Ipad を支給し、これを活用した教育の推進

(3) 現状と課題

- ◎ 2020年度から、国の「高等学校等就学支援金制度」により、私立高校でも年収590万円未満の世帯では、授業料が実質不要になる。このような時代に「学校とは何ができるのか」が問われている。
- ◎ 新陽高校では、「カルチャー」(失敗していい・出会いと原体験)を基本として取り組んでいる。

【成 果】

当日は、新井校長自ら説明をされ、偏差値に縛られない、本当に子供たちの未来を考え、試行錯誤を繰り返しながらも様々な試みをしている取り組みが印象的だった。

特に、公立校では難しいが、先生方の自分の机が無く、ペーパーレス化された職員室に生徒たちが押し寄せ、学習や相談している様子に、先生方の熱心さが伺えた。

また、生徒が高校を選ぶときには選択権は殆んどなく、母親に選択権がある。これは父親が国会議員であったことから、生徒の募集は「選挙活動」に似ているという。

まず、来てもらい話を聞いてもらうことから始まる。街頭で一般大衆に演説するのではなく、小人数で集まるお茶懇(説明会)が大切という。この話は、非常に面白くて参考になるのではないか。

視察研修による課題としては、

- ◎ 2020年度から、私立高校でも年収590万円未満の世帯では、授業料が実質不要になることから、来年度からはますます通学生の多い公立校は生徒の確保が困難になることが予想される。早急にこれに対する調査・対策が求められている。
- ◎ とにかく、清水高校総合学科の良いところをどうアピールしていくか、ターゲットをどこに絞り集中して募集活動をするか。
これらについて、考えさせられた視察研修であった。

II 日目 北海道科学大学高校

【概 要】

(1) 学校長 橋本 達也

- ◎ 職 歴 奥尻高校、釧路湖陵高校、北広島高校等、公立校の校長を歴任後、今年の4月から始めての私立校の校長

(2) 教育目標

【目指す学校像】

- 1 北海道科学大学系列による科学の基礎的知識を身につけた多様な人材を育てる学校
- 2 生徒の主体性を育て、挑戦する場を与え続ける学校
- 3 高等教育に直接触れる体験を通じて、生徒が広く社会に目を向けて自己実現を図る学校

【目指す生徒像】

- 1 基礎的学力(基礎的読解力や数学的思考力など)や情報活用能力を身につけた生徒
- 2 来るべき「超スマート社会」に主体的に挑戦する生徒
- 3 自ら努力することや他者と協力することの価値を理解する生徒

(3)現状と課題

当日は、橋本校長自から説明をされ、本年4月に公立高の校長から私立校の校長に赴任し、あまりの違いに驚きの連続であったこと、また殆ど文科省の縛りが無い中での経営の逆の難しさ等を興味深く聞いた。

教育目標では、新陽高校と同様、偏差値に縛られない学校運営と、教員の転勤がない、受験に特化したコースの模索、プレゼンを重視した選抜の海外研修、「特待生制度」の難しさ、「尚志塾」(早朝・放課後自主学習)の取り組みなど、公立高とは異なる様々な試みを、これまた試行錯誤しながら取り組んでいるのが印象的であった。

【成果】

- ◎ 「指導」という言葉を止めて「支援」にし、あくまでも生徒たちの成長を促すことに重点を置いている。
- ◎ 「文武両道」を目指して、部活は全国大会に出場多数。経費はかかるが学力だけでは生徒のためにならない、部活は学校の活力！を基本とし、「負ける！」ことも重要視している。負け方を知ることが今後の人生において糧になる。
- ◎ 教員の研修も強化し、公開授業や校外研修、現状の中学校を知ることなど、常にレベルアップを目指している。
- ◎ 生徒に iPad を支給、先に授業を録画し、見ていることを前提にした「反転授業」も進めている。また、一斉授業とグループ学習の両方を取り入れ、「わからない」ことを無くす、個別授業も取り入れながらも「自分で学ぶ」ことを大切にしている。なので、必ずしも偏差値は重視していない。

今後の清水高校の向かう方向としては、

- ◎ 1 学年約 300 人を 11 クラスにして、手厚くフォローしている。清水高校でも文科の特区である「研究指定」を受け 30 人学級を目指してはどうかとの話が出され、検討事項として貴重な助言をもらう。

以上、この 2 校の視察研修においては、まず公立高との違い、また私立校ならではの様々な課題など、多くのことを学んだ。

今後、この成果を実際に議会として、議員としてどう清水高校の振興に活かしていくのか、大きな課題をもらいました。

別記様式（第6条関係）

令和1年11月20日

清水町議会議長 様

清水町議会議員 鈴木 孝寿

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名 厚生文教常任委員会視察研修
- 2 研修日時 令和元年11月5日（火）～6日（水）
- 3 研修先 札幌市 札幌新陽高校・北海道科学大学高校
- 4 研修目的 高等学校振興に対する支援策について
- 5 成果（具体的に）

札幌新陽高校

荒井学校長から直接説明をいただき、学校の案内をいただけたことは非常に貴重である。現在、荒井学校長は全国から講演依頼を受けるほど学校教育界に留まらず、各界からその行動・考え方・進め方等々脚光を浴び、実際に札幌新陽高校を短期間に立て直し人気学校にした手腕は全国に名を轟かせている。

偏差値教育から経験値重視の教育は、少子高齢化の中において将来的に偏差値社会から創造型社会への転換の先を見越した取組みをいち早く展開した事が、現在、人気校として脚光を浴び、この取り組みは10年後の高校教育の流れなのかもしれない。

思考力+行動力を重視した教育は、例え中学時代に偏差値が低くても、やる気があれば、どのような考えを持って行動すれば、強く生きていけるか身に付けるという学校の考えそして生徒の希望、それぞれがマッチした事が、現在の「形」になっていると考えられる。

札幌新陽高校は、現在の公立高校とでは基本的考え方で大きな相違がある。その答えを簡単に書くならば「自由と責任」を学ぶ学校で、学歴社会への挑戦とも受け取れる。しかしながら、それ故の弱さと脆さも同居している。

北海道科学大学高校

橋本学校長から説明をいただいた。北海道科学大学の付属高校として、公立では出来ない私立の強みを前面に出して、現在新たな高校としての改革を断行しているという印象を強く受けた。

生徒数は926名を数え、公立を含めても大きな規模の学校だが、これからの子どもたちに、入学を選択してもらうための学校にするため、公立と私立の中間的な独自色を出す取組を行っている印象を受けた。基幹となる大学の経営とも関わるために、一つの企業としての経営を行っているといえる。

生徒の自主性をどのように伸ばすか、また、生徒が望む事をどのように叶えるかを、学校として日々追求する姿勢は、公立よりも私立の方がそのスピード感は間違いなくある。その証拠に学校長は経営のマネジメントを強く要求されているからだろう。要は、悪ければ更迭されるだけだから。

新陽高校よりも経営的には余裕があるように感じ、その変化スピードは劣るものの、今の時代への対応力は公立高校とはまったく異なり、早く敏感と感じた。

特筆すべき両校の取組

- ※ やる気のある教師を公立高校から招聘する
- ※ Ipadの貸与
- ※ ビジュアルを重視する制服
- ※ 学校案内・学校紹介・体験入学への重要性の認知
- ※ 留学への取組
- ※ 地域とのコミュニケーション
- ※ 生徒への要望に対する迅速な対応
- ※ 生徒を入学させるためのカリキュラム

清水高校への清水町の支援体制

結論から言うと、公立高校と私立高校の差は大きい。転勤族の教師、道立高校としての縛り。道立高校であるため清水町として関わるにはそのハードルは高い。カリキュラムや様々な時間を独自色として出すには公立高校は不可能。

上記を考えた時に出来る事は限られるものの、その中には特色を打ち出す事はできると思える。無論、学校と町というこれまでほとんど関わっていない現実の中では、まずは信頼関係を築く事が一番という前提はあるが、下記のとおり提言したい。

1. 清水高校の良さを前面に出す

総合学科自体が中学生に伝わっているのだろうか？子を持つ親としても今一つ学校の特色がわからない。中学生に伝わる以上に保護者にもわかりやすいイメージ作りが必要。また、スポーツやスイーツ等の実績をよりピックアップした媒体等も必要ではないか。これらを踏まえ、自分たちで作るのではなく、広告代理店のプロを利用して入学に至る広報に、町としての支援が重要と考える。

2. IT化の徹底追及

他町村の高校では Ipad の無償貸与を決めたところもあるが、その運用方法が現在の高校のシステムで活かされるかは不透明。まず、清水町として学校の教師に対して IT化に向けた準備予算を独自で付ける必要があると思われる。その上で将来的に生徒全体に普及させてはどうか。これは、道の財政の逼迫した状況を考えると、道立高校においてはスポット的にしか予算が回らない中で、ハードの整備は何よりも重要と考える教師がいるため。

3. 留学制度の創設

全員が行ける留学制度には、その関心度に意味を成さない。これは道立高校の多くの教員からも聞く言葉で、北海道科学大学高校のような希望者に対する面接・提案等を実施して、より長く体験・経験できるシステムを町として提供することが、生徒のやる気を引き出すファクターになり得る。

4. 十勝管外の高校との交流

新陽高校が奥尻高校をはじめ他の高校と交流することによって、生徒間のコミュニケーション力がつくとの話をうけ、清水高校においても道内の高校との交流を促すべきと考える。少なくとも高校生の生徒数がこれから激減していく中で、道内・道外に問わず交流するための予算措置を積極的に行う必要性を感じる。

最後に

両高校の学校長が共通してお話しされた部分で、今後の公立高校の流れを話されていた。北海道はその厳しい財政事情を踏まえ、また、これからの全国的な少子高齢化を踏まえ、公立高校の存続自体が厳しいものになる。

この言葉の意味を伺うと、公立高校を地元で存続させる場合、町立高校へと変遷していくのはこれからの流れになるだろうと。

特に、札幌圏以外は生徒数がこれからの10~20年で大きく減少し、統合・廃校の流れは止まる事がないのでは？というのが、現実的な話になるだろうとの事。

これらを踏まえ、清水町をはじめ十勝西部方面の児童数や出生そのものを見て考えたとき、その存続自体も非常に憂慮されると考えられる。間違いなく地域間競争に巻き込まれる事になるが、それまでのこの3年ないし5年単位での高校に対する考え方を、行政的な時間の掛け方で準備・実行しては、間口減の急激な流れは止める事が出来ないと断言したい。

闇雲に手を打つ必要性を訴える気はないが、現実を見据えたとき、今こそ打てる手を打つ最後のタイミングだと思う。

行政として高等学校の施設が町づくりに必要と考えるならばだが。

別記様式（第6条関係）

令和元年11月21日

清水町議会議長

様

清水町議会議員 西山輝和

研修報告書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会（所管事務調査）
- 2 研修日時 令和元年10月5日（火）
- 3 研修先 札幌市 札幌新陽高校
- 4 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について
- 5 成果（具体的に）

札幌新陽高校は私立高校であるが、私学助成制度により授業料の自己負担は公立高校とほとんど差がない。入学金は10万円だが、オープンスクールに2回参加した方は半額になる制度や学力やスポーツの特待制度、各種奨学金制度が用意されている。

学校のスローガンは、自ら考え体験し実践する教育を掲げている。自分の良いところ、足りないところを見つめながら、成長していく気持ち、夢を実現するために目標を持ち高校で学びたいという生徒を求めている。

ICT教育を取り入れ、入学者全員にタブレットを配布し、学び直しの授業や苦手なところは一人で自宅学習もできる環境を作っている。教育の価値観を偏差値から経験値重視に変えている。

札幌市内からの入学者がほとんどだが、少子化により入学者の確保は厳しい状況であるが、時代の変化に対応し、新しいものを生む出せる能力を身につけるため学校ぐるみで支援に重点を置いていた。そういった学校の特色を中学生とその母親に積極的にアピールし、募集活動に取り組まれているのが印象的であった。

別記様式（第6条関係）

令和元年11月21日

清水町議会議長

様

清水町議会議員 西山輝和

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

1 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）

2 研修日時 令和元年10月6日（水）

3 研修先 札幌市 北海道科学大学高校

4 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について

5 成果（具体的に）

北海道科学大学高校は、全日制で募集定員300人の男女共学の私立高校である。入学試験要項は、推薦、単願、一般となっている。

学校長はじめ教職員が全道の中学校を訪問し、学校案内をしているとのこと。部活動も盛んでバレーボール、野球、合唱部などは、全国大会への出場を果たしており、優秀な選手が全道各地から集まってくるとのこと。部活動では、努力すること仲間を大切にすることを教えるのはもちろんだが、負けて学ぶことの大切さをしっかりと理解してもらうよう取り組んでいる。

最近の傾向としては、工学科より普通課程を希望する子が多くなっており、系列の大学とも連携を図り、この高校卒業後の自分の未来を描けるよう魅力的な学科をつくり、入学者の募集を行っている。

来年度からは工学科の募集を廃止し、自分の可能性を切り拓く3年間になるよう、徹底した受験対策で高い目標を達成できる普通科に2つのコースを設定している。

進学コースは、勉強と部活を両立する文武両道で人間力を磨き大学進学への意欲を高めるための支援がされている。特別進学コースは、国公立大学、難関私立大学への現役合格を目指す、また、系列大学などで薬剤師や医療職を目指すための支援がされている。

生徒一人ひとりの思いに応える大学進学や将来の夢を実現するためのサポートに重点が置かれ、子どもたちの総合力をアップするための教育に取り組まれていた。

別記様式（第6条関係）

令和元年 11月 14日

清水町議会議長

様

清水町議会議員

中島里司

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）
- 2 研修日時 令和元年10月5日（火）
- 3 研修先 札幌新陽高等学校
- 4 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について
(札幌新陽高等学校の取組みについて)

5 成果（具体的に）

少子高齢化の日本の新しい未来に挑戦していく人づくりを目指して。

札幌市内校として、格付は低い高校であった。

教育の経験のない荒井校長が就任してから、経営者として、シリョクある高校を目指して多様な工夫をしている。教職員の意識も変わった。

1. ICTを利用した授業を行っている。入学者全員にノートパソコンをプレゼント

2. 全国模試で自分の実力ほどのくらいかを自分で把握させる

3. 目標を持ち、達成する方法も考えて行動し、失敗しても自分の力で最後まで、やり抜ける力を手に入られるようにサポートする。

システムが確立されている。

入学してから、自分の目標をしっかりと見付けられる支援、そして、この学校卒業したことに誇りを持つ。結果を重視している。

※校長談：少子化により将来は公設民営の学校が現実になるかも

：30人学級については検討する時期かも。

別記様式（第6条関係）

令和元年 11月 14日

清水町議会議長

様

清水町議会議員 中島 里司

研 修 報 告 書

清水町議会議員研修要綱第6条の規定により、次のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修名（主催者） 厚生文教常任委員会視察研修（所管事務調査）
- 2 研修日時 令和元年10月6日（水）
- 3 研修先 北海道科学大学高等学校
- 4 研修目的（視察事項） 高等学校振興に対する支援策について
（北海道科学大学高等学校の取組みについて）
- 5 成果（具体的に）

高校時は、自分の「ミライ」を思い描きながら、自分自身と向き合う3年間。
自分でチャレンジして手にすることや、気づがなかった自分に出うこともある。
生徒の中にあるのは無限の可能性。
ゆっくりでもいい、自分のペースでどんどん乗りこなして新しい自分に気付く。
それらを実現するために学校環境が整っている。

 1. 自分の学び方に応じて「転コース」ができる！
 2. 本気の文武両道を「サポート」！ 朝7時30分から放課後は20時まで開放。
 3. 留学支援が「充実」！ 学費は寮付により賄っている。

登校してから下校まで、生徒は無だのない行動指し体制が整っている。
又、教職員も各方面で支援している。
ICT教育として、生徒全員にiPadを授業で活用している。リースにより賄っている。
学校経営の基盤は、生徒にあり、充実した高校生活過ごさせる一念で、教職員も一体になっていることを、強く感じた。